

今週の相場はどうなる？

今週の相場はどうなる？

作成者：山根亜希子

○8月29日～

欧米のインフレ率は高い状態が続いています。

9月以降の各国の金融政策の行方が気になりますが先週末のジャクソンホールでのパウエルFRB議長の講演で、米国はかなりの期間、引き締め策を維持するということで米国株が大きく崩れてきました。

為替相場ではユーロ／ドルがパリティ（1ユーロ＝1ドル）を割り込んできそうです。

ユーロ導入時の20年ほど前はユーロ／ドルが0.85ドルくらいでしたが20年ぶりのユーロ安の動きにも注目したいです。

クロス円は、週明けからリスク回避の流れが強まってきたら注意がいらいます。

<ドル／円>

再び137円を超えてきたドルですが勢いは弱まっているので利益確定も考えながら買っていきたいです。

下値は、136円を維持できれば堅調な動きが期待できそうです。

<気になるクロス円>

クロス円はバラバラの動きです。オセアニア通貨は下げてきているので安値更新の動きに警戒したいです。株価が下げてきたら下落リスクが高まりそうです。

*クロス円とは円との通貨ペアの総称：〇〇／円というような通貨ペアのことです。

<ファンダメンタル？>

日本では7月鉱工業生産などがあります。

米国では6月ケース・シラー米住宅価格指数、8月消費者信頼感指数、8月ADP雇用統計、8月シカゴ購買部協会景気指数、前週分新規失業保険申請件数、8月製造業PMI（改定値）、8月ISM製造業景況指数、8月雇用統計などが発表されます。

欧州ではユーロ圏とドイツで8月消費者物価指数、8月製造業PMI（改定値）、ユーロ圏で7月卸売物価指数などがあります。

ほかにはカナダで4-6月期GDP、6月GDPの発表などがあります。